

科目名 (Eng)		会計理論 (Accounting Theory)							
担当教員		渡部 美紀子							
対象学年等	学科・専攻	学年	授業期間	区分	単位数	時間数	分野	形態	学修単位科目
	コミュニケーション 情報学科	5	前期	必修	2	(30)	専門	A	○
目標基準 との対応	福島高専の教育目標との対応: (B-4), (C-1), (D-1). 卒業時に身に付けるべき学力や資質・能力との対応: 3), 4). JABEE基準1(1)との対応: d(1), d(2), d(4), g, h.								
授業の概要と方針	ビジネスの基礎といわれる会計を学ぶ。全経簿記1級以上の会計学を学習する。『財務会計』で学んだ株式会社の経理一般の知識を基に、会計理論の基礎について学習する。								
到達目標	①財務会計の基礎理論が理解出来る。 ②株式会社の帳簿組織を理解し、それに基づいた財務諸表を理解することが出来る。 ③簿記能力検定試験1級会計の検定レベルの問題を解くことが出来る。								
授業計画									
	週	授業項目	理解すべき内容				事前学習		
前期	1	イントロダクション	授業の進め方・現代の企業会計における課題						
	2	企業会計総論(1)	財務会計の基礎理論						
	3	企業会計総論(2)	財務会計の基礎理論						
	4	資産会計(1)	金融商品他						
	5	資産会計(2)	棚卸資産他						
	6	資産会計(3)	有形・無形固定資産他						
	7	負債・資本会計	負債、純資産						
	8	損益会計(1)	収益会計				前回の授業内容について、復習し、テキストの問題を解いておくこと。		
	9	損益会計(2)	費用会計						
	10	財務諸表(1)	損益計算書						
	11	財務諸表(2)	貸借対照表						
	12	特殊論点(1)	本支店・連結会計						
	13	特殊論点(2)	税効果会計						
	14	特殊論点(3)	財務諸表分析						
	15	総合演習	まとめ						
試験について	前期試験は実施する。後期試験は実施する。								
評価方法	定期試験70%，課題30%で総合的に評価する。								
教科書	『ゼミナール現代会計入門』伊藤邦雄，日本経済新聞出版社，『完全分類 全経簿記，1級会計』英光社，『全経簿記 改訂ワークブック，1級会計』英光社；配布プリント								
参考書									
関連科目									
履修上の注意	1級会計は，これまでの学習に比べて急激にレベルが上昇するので，資格取得にはかなりの勉強時間を割くことが必要である。簿記能力検定の過去問題にも積極的に取り組むこと。自学自習の確認方法―学生に課題を与え，定期的に提出させる。								